

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 エムケー精工株式会社

コード番号 5906 URL <http://www.mkseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 丸山 将一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 小林 文彦

TEL 026-272-0601

四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年3月21日～平成25年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,993	1.3	511	△18.3	486	△19.7	238	△48.9
25年3月期第2四半期	8,877	1.0	626	64.3	605	74.9	467	43.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 427百万円 (△7.0%) 25年3月期第2四半期 459百万円 (59.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	16.46	—
25年3月期第2四半期	32.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	20,799	8,332	40.1	574.58
25年3月期	19,641	8,020	40.8	553.09

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,332百万円 25年3月期 8,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年3月21日～平成26年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	0.9	810	△6.9	720	△7.9	420	△29.8	28.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	15,595,050 株	25年3月期	15,595,050 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,093,718 株	25年3月期	1,093,042 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	14,501,578 株	25年3月期2Q	14,502,008 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導によるデフレ脱却に向けた経済政策や金融緩和により景気回復への期待感が高まり、円安株高が進行したほか、輸出産業を中心に企業収益の改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、一部に需要の回復傾向が見られるものの、市場では激しい価格競争が繰り広げられ、また原材料価格高騰などの影響もあり、先行きは予断を許さない不透明な状況で推移いたしました。

こうした状況のもと当社グループは、顧客ニーズの変化に敏感かつ柔軟に適応し、環境問題に配慮した商品開発を行うとともに、製品の開発から販売まで一貫した合理化やVAの推進、在庫削減など、より強固な財務基盤の構築に向けて更なるコスト削減に取り組み、健康な企業へと体質改善を図ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は89億9千3百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は5億1千1百万円（前年同期比18.3%減）、経常利益は4億8千6百万円（前年同期比19.7%減）、四半期純利益は法人税が増加し2億3千8百万円（前年同期比48.9%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(オート機器事業)

SS業界の元売りや大手顧客におきまして設備投資意欲の回復が継続し、主要製品の門型洗車機に加え、オイル機器の売上が伸長しました。また、メンテナンスを中心としたアフターマーケット需要が堅調に推移し、売上高は前年同期比8.6%増の56億5千3百万円となりました。

(情報機器事業)

一般店舗向け小型表示機及びアミューズメント業界向けフルカラー表示機は、海外製品との価格競争に晒され厳しい市場状況にありますが、新製品の導入効果により前年同期並みの売上となりました。一方、官需関連におきましては、前年度受注分の道路情報板システムを当第2四半期までに納入したものの、期中の受注は軟調に推移し、売上高は前年同期比18.2%減の10億9千8百万円となりました。

(生活機器事業)

パン焼き機などの調理家電を含めた一般家庭向け商材は、海外商品との価格競争により厳しい状況が続きました。また、保冷米びつは堅調に推移しましたが、主力商品の農産物低温貯蔵庫は伸び悩み、売上高は前年同期比8.3%減の16億5千6百万円となりました。

(住設機器事業)

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、木・アルミ複合サッシ及び反射板式消音装置の製造・施工が主な事業であります。主要取引先である建設業界は引き続き厳しい状況にありますが、前年度後半からの受注が比較的好調に推移し、当上期の売上に寄与できましたことから、売上高は前年同期比11.3%増の4億9千8百万円となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。ホテル業におきましては、長野市内での競合が激化し厳しい状況が続いているものの、ビジネス・観光ともに需要回復の兆しが見え始め、売上高は前年同期比13.4%増の8千5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億5千8百万円増加し207億9千9百万円となりました。流動資産は11億7千5百万円増の112億9千4百万円、固定資産は1千6百万円減の95億4百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い、売掛金が8億9千1百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ8億4千7百万円増加し124億6千7百万円となりました。流動負債は6億3千1百万円増の93億4千9百万円、固定負債は2億1千5百万円増の31億1千8百万円となりました。これは主に短期借入金が1億8千万円増加したことと買掛金が1億5千6百万円増加したこと、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ3億1千1百万円増加し、83億3千2百万円となりました。これは主に四半期純利益2億3千8百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1億2千2百万円減少し、3億5千9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、3億5千6百万円（前年同期は2億5百万円の獲得）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益4億8千4百万円を計上したことやその他負債の増加額2億6千3百万円により資金が増加した一方、売上債権の増加額6億8千2百万円とたな卸資産の増加額5億7千万円により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億1千2百万円（前年同期比1千5百万円の減少）となりました。主な要因は、その他投資活動による収入1千8百万円により資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出1億2千9百万円により資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、3億3千2百万円（前年同期は1億円の使用）となりました。主な要因は、短期借入金の純増額1億8千万円と長期借入金による収入9億円により資金が増加した一方、長期借入金の返済による支出6億1千2百万円により資金が減少したことによるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の通期業績予想につきましては、平成25年5月2日付「平成25年3月期決算短信」で公表しました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月21日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,540,003	1,417,648
受取手形及び売掛金	3,910,504	4,650,379
商品及び製品	1,397,452	1,652,275
仕掛品	1,211,843	1,296,227
原材料及び貯蔵品	1,770,055	2,047,506
その他	309,543	253,148
貸倒引当金	△20,240	△22,245
流動資産合計	10,119,163	11,294,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,859,857	2,825,480
機械装置及び運搬具(純額)	262,034	282,860
土地	2,981,164	2,981,164
その他(純額)	138,710	152,220
有形固定資産合計	6,241,767	6,241,725
無形固定資産		
のれん	1,057,042	1,002,610
その他	528,881	528,297
無形固定資産合計	1,585,923	1,530,908
投資その他の資産	1,693,487	1,731,818
固定資産合計	9,521,178	9,504,451
繰延資産	966	483
資産合計	19,641,308	20,799,874

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,030,272	1,120,806
短期借入金	2,960,000	3,140,000
1年内返済予定の長期借入金	1,637,843	1,620,270
未払金	2,490,303	2,634,155
未払法人税等	170,934	222,999
引当金	306,712	263,680
その他	121,539	347,370
流動負債合計	8,717,606	9,349,281
固定負債		
社債	100,000	—
長期借入金	2,290,561	2,595,886
退職給付引当金	256,153	249,900
その他	256,032	272,619
固定負債合計	2,902,747	3,118,405
負債合計	11,620,353	12,467,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	2,419,826	2,542,456
自己株式	△510,121	△510,386
株主資本合計	8,234,400	8,356,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,150	96,776
繰延ヘッジ損益	17,390	3,489
為替換算調整勘定	△289,987	△124,844
その他の包括利益累計額合計	△213,446	△24,578
純資産合計	8,020,954	8,332,186
負債純資産合計	19,641,308	20,799,874

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
売上高	8,877,439	8,993,008
売上原価	5,871,875	5,980,742
売上総利益	3,005,563	3,012,265
販売費及び一般管理費	2,379,072	2,500,602
営業利益	626,490	511,663
営業外収益		
受取配当金	11,169	17,205
その他	35,227	37,166
営業外収益合計	46,397	54,371
営業外費用		
支払利息	58,372	48,307
その他	9,179	31,482
営業外費用合計	67,552	79,789
経常利益	605,335	486,244
特別利益		
固定資産売却益	30	208
特別利益合計	30	208
特別損失		
固定資産除却損	1,753	1,976
投資有価証券評価損	42,132	—
特別損失合計	43,886	1,976
税金等調整前四半期純利益	561,479	484,476
法人税、住民税及び事業税	50,146	209,723
法人税等調整額	43,861	36,107
法人税等合計	94,007	245,831
少数株主損益調整前四半期純利益	467,472	238,645
四半期純利益	467,472	238,645

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	467,472	238,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,006	37,625
繰延ヘッジ損益	△12,076	△13,900
為替換算調整勘定	25,112	165,142
その他の包括利益合計	△7,970	188,867
四半期包括利益	459,501	427,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	459,501	427,513

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	561,479	484,476
減価償却費	210,510	205,065
のれん償却額	54,432	54,432
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,282	2,460
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,920	△42,080
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,602	△6,252
受取利息及び受取配当金	△11,791	△17,968
支払利息	58,372	48,307
有形固定資産売却損益(△は益)	△30	△208
有形固定資産除却損	1,753	1,976
投資有価証券評価損益(△は益)	42,132	—
売上債権の増減額(△は増加)	32,923	△682,916
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,021,770	△570,787
その他の資産の増減額(△は増加)	3,536	6,058
仕入債務の増減額(△は減少)	42,881	80,547
その他の負債の増減額(△は減少)	342,826	263,636
小計	299,222	△173,253
利息及び配当金の受取額	11,755	17,935
利息の支払額	△51,774	△42,735
法人税等の支払額	△53,868	△158,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	205,334	△356,281
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△787,500	△1,042,500
定期預金の払戻による収入	787,500	1,042,500
有形固定資産の取得による支出	△127,147	△129,476
有形固定資産の売却による収入	38	258
無形固定資産の取得による支出	△10,375	△4,366
投資有価証券の取得による支出	△3,358	△2,865
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	7,830
貸付けによる支出	—	△960
貸付金の回収による収入	2,504	780
その他の収入	12,524	18,263
その他の支出	△1,628	△1,858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,443	△112,393

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△402,000	180,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△19,690	△18,647
長期借入れによる収入	1,000,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△606,409	△612,248
自己株式の取得による支出	—	△264
配当金の支払額	△72,510	△116,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	△100,610	332,823
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,811	13,495
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△20,907	△122,355
現金及び現金同等物の期首残高	373,678	481,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	352,771	359,348

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,205,774	1,342,574	1,805,526	447,974	75,589	8,877,439	—	8,877,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,895	17,203	174,649	4,745	74,244	276,738	△276,738	—
計	5,211,669	1,359,777	1,980,176	452,719	149,834	9,154,177	△276,738	8,877,439
セグメント利益又は 損失(△)	841,416	7,142	243,752	△118,647	22,993	996,656	△370,166	626,490

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△370,166千円には、セグメント間取引消去13,039千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△383,205千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,653,982	1,098,322	1,656,270	498,690	85,741	8,993,008	—	8,993,008
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,759	20,693	170,400	24	74,625	271,503	△271,503	—
計	5,659,742	1,119,015	1,826,671	498,715	160,366	9,264,511	△271,503	8,993,008
セグメント利益又は 損失(△)	892,820	△57,935	172,726	△102,499	31,738	936,851	△425,188	511,663

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△425,188千円には、セグメント間取引消去13,038千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△438,227千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。